

令和 6 年度島根県公立高等学校入学者選抜学力検査について

1 学力検査結果の概要

本概要は、令和 6 年 3 月 5 日に実施した学力検査における受検生の解答と得点状況を総括し、受検生の学力の傾向を示している。なお、過去の平均点や得点状況のデータも参考として掲載しているが、年度により問題の難易に差があるため、単純に経年比較することはできない。

【全般】

本検査は、中学校学習指導要領に沿って、日頃の学習で積み上げられた基礎学力を測るものであるとともに、問題作成にあたっては、知識及び技能に加えて、思考力、判断力、表現力等を問う問題を重視した。

学力検査結果全般から読み取れる学力の傾向は次のとおりである。

- ① 基礎的・基本的な事項については概ね定着している。
- ② 文章や図表などから何が問われているかを正確に捉え、複数の知識及び技能を相互に関連付けて活用する力や、適切に表現する力に課題がある。

【国語】

情報の分類、話し合いに必要な知識など、国語の学習で基盤となる力は身に付いているが、日常的に使わない語句に関する問題では正答率が低かった。文章読解では、部分を理解する問題の正答率が比較的高かった。一方、複数の情報を整理して主題を捉える問題は正答率が低く、本文から抜き出して答える形式でも無解答率が全体の 2 割を超えた。作文では、条件を満たして記述することができず、誤答となる生徒が多かった。条件に応じて、必要な情報を組み合わせて活用する力、粘り強く表現しようとする態度の育成が望まれる。

【社会】

基礎的・基本的事項を問う問題については正答率が比較的高いことから、三分野それぞれについての基礎的・基本的な知識や技能は概ね身に付いている。一方、異なる種類の資料を関連付けて考える問題や、考えたことを決められた字数内で表現する問題については正答率が低かった。習得した概念的知識や資料活用 of 技能を用いて、社会的事象を多面的・多角的に考察する力や、考えたことや判断したことを定められた条件のもとで適切に表現する力の育成が望まれる。

【数学】

基本的な知識を問う問題や計算技能をみる問題については正答率が高く、基礎的・基本的な事項の定着がうかがえる。また、問題場面における考察の対象を正しく捉えることはでき、必要な情報を読み取ることができている。しかしながら、用語の意味、基礎的な概念や原理・法則の理解が十分でない部分もある。具体的な数や文字式を用いて調べ、論理的に考察することや、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。情報を整理し、数学的に考察し表現する力、身に付けた知識及び技能を活用する力の育成が望まれる。

【理科】

知識及び技能をみる問題の正答率は高く、基礎的・基本的な事項はよく身に付いている。また、授業で扱った観察、実験に関する問題の正答率も高く、探究の過程を通じた授業の充実がうかがえる。一方、計算や論述による問題の正答率は低く、無答率も高かったことから、実験の結果などを論理的に考察したり、適切に表現したりすることに課題がある。科学的に探究する力を育成するために、自然の事物・現象と関わり、探究の過程を通して、理科の見方・考え方をより一層豊かで確かなものにしていくことが望まれる。

【英語】

図表から必要な情報を読み取る問題や、英文の中に解答と直結する表現がある問題の正答率は概ね高かった。一方で、聞き取ったり読み取ったりした内容をもとに、自分の考えを英語で表現する問題の正答率が低かった。複数の情報を整理して解答する問題の正答率はやや低かった。学習指導要領に基づき、新たに中学校で扱うことになった文法事項や、増加した語彙にうまく対応できていない様子も見られる。幅広い言語活動の中で語彙を定着させながら、複数の技能を効果的に統合して活用する力の育成が望まれる。

資料 2

2 学力検査得点状況について

(1) 平均点・標準偏差

年度 教科	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差
国語	28.5	8.8	30.6	8.6	29.0	7.1
社会	27.4	9.6	27.9	9.0	30.5	10.4
数学	26.8	10.9	26.3	10.5	24.7	9.3
理科	25.2	9.5	29.8	11.6	26.9	11.4
英語	27.3	11.6	24.6	11.4	22.2	10.1
総得点	135.1	45.6	139.2	45.6	133.2	43.5

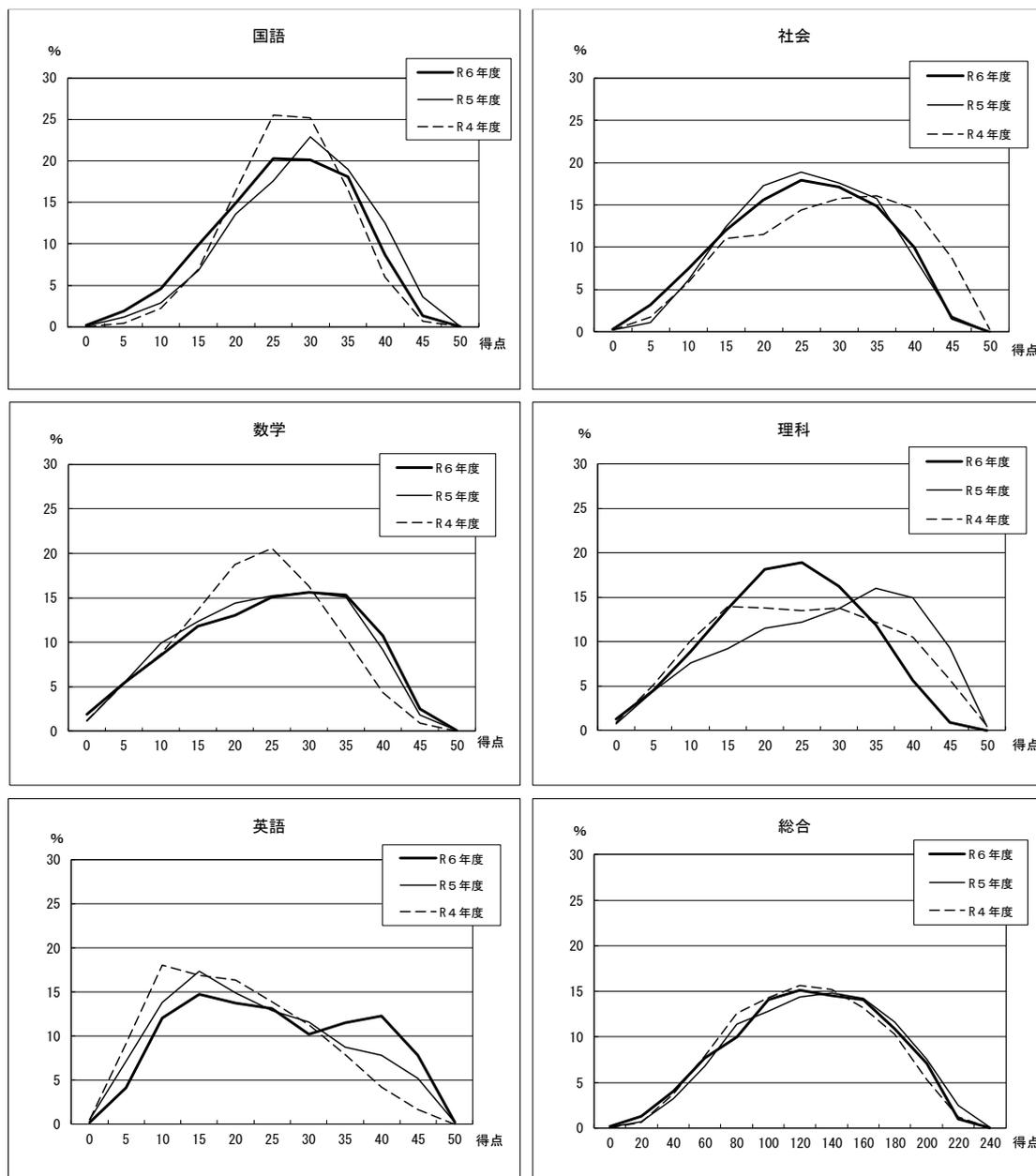
※各教科50点満点

※標準偏差……得点の散らばり具合を数値で表したもの。大きい値であれば幅広い得点分布となり、小さい値であれば平均点付近に集中した分布になる。

(2) 総得点分布

年度 得点	令和6年度		令和5年度		令和4年度	
	人数	%	人数	%	人数	%
220点以上	35	1.0%	98	2.6%	46	1.2%
200～219	246	7.1%	286	7.5%	199	5.3%
180～199	378	10.9%	442	11.6%	387	10.3%
160～179	486	14.1%	538	14.2%	496	13.2%
140～159	500	14.5%	563	14.8%	574	15.2%
120～139	523	15.1%	547	14.4%	589	15.6%
100～119	487	14.1%	485	12.8%	540	14.3%
80～99	346	10.0%	432	11.4%	475	12.6%
60～79	267	7.7%	258	6.8%	299	7.9%
60未満	191	5.5%	150	3.9%	164	4.4%
計	3459		3799		3769	

(3) 得点分布



(4) 各教科を担当する教員の学力検査に対する意識調査結果

(中学校等 99 校 高校 39 校)

教科	校種	内容の程度			問題の分量		
		もっと下げる	ほぼ適当	もっと上げる	多い	ほぼ適当	少ない
国語	中学校	7.1%	90.9%	2.0%	13.1%	86.9%	0.0%
	高校	5.1%	92.3%	2.6%	17.9%	82.1%	0.0%
社会	中学校	4.0%	90.9%	5.1%	2.0%	98.0%	0.0%
	高校	12.8%	87.2%	0.0%	17.9%	82.1%	0.0%
数学	中学校	2.0%	92.9%	5.1%	11.1%	87.9%	1.0%
	高校	0.0%	97.4%	2.6%	7.7%	92.3%	0.0%
理科	中学校	1.0%	92.9%	6.1%	5.1%	94.9%	0.0%
	高校	23.1%	76.9%	0.0%	10.3%	89.7%	0.0%
英語	中学校	2.0%	89.9%	8.1%	5.1%	93.9%	1.0%
	高校	0.0%	89.7%	10.3%	0.0%	94.9%	5.1%